

11月10日 全校朝会の話「びんざさら舞」

学芸会が終わって1週間が過ぎました。先週の朝会では、がんばっている6年生のお話をしましたが、5年生もみんなのためのお仕事をしてくれました。この写真は、学芸会の片づけをしている5年生です。みんなが体育館を使えるように、みんなで重いものを運んでいます。ありがたいですね。

そして先週は、連合音楽会がありました。浅草公会堂の大きな舞台上で、4, 5, 6年生がすてきな音楽を表現しました。さくらまやさんも来てくれました。シャボン玉と一緒に歌ったり、本物の演歌を聞かせてくれたりしました。「夢をもって生きて行こう」というお話もすてきでした。

今週は、千束小学校に「びんざさら舞」が来てくれます。この写真は、三社祭の大行列のびんざさら舞が校庭に来てくれたときのものです。種まきに見立てた紙吹雪をみんなで集めたのを覚えてくださいね。

この「びんざさら舞」ですが、どうして「びんざさら舞」という名前なのかというと、この写真のものが「びんざさら」というもので、楽器の名前なのです。「びんざさら」という楽器を使って踊るから「びんざさら舞」というのですね。

私たちが知っている「びんざさら舞」は校庭での大行列ですが、三社祭で行列が浅草神社に到着した後、神社で写真のような舞が奉納されるそうです。このびんざさら舞には、少し難しい言葉ですが、豊作、悪霊退散、という願いが込められているそうです。豊作というのは、「みんなが食べるお米や野菜、くだものなどが、いつもよりたくさん、立派に収穫

できること」、悪霊退散とは、「悪い霊がいなくなるように、つまり、どうか病気やケガ、大変なことが起こりませんように、私たちを守ってください!」という意味です。



神社では、獅子頭も奉納されます。獅子頭は獅子舞に使うもので、見たことがある人もいるのではないのでしょうか。獅子頭には、子孫長久、悪疫消除という願いが込められています。子孫長久というのは「自分たちの家族や町の人がずっと平和に続いてほしい」ということ、悪疫退散というのは、「悪い病気を追い払い、

みんなが健康で、病気にならずに過ごせますように」という願いが込められています。どちらも、みんなが平和に暮らし続けられるようにという願いが込められているのですね。

今週の木曜日、11月13日（木）に、びんざさら会の方が千束小学校にきてくださり、びんざさら舞を見せてくれます。千束小学校の120周年をお祝いして、素敵な千束小学校がずっとずっと続くことを願って舞を踊ってくださいます。楽しみにしてください。



11月13日（木）

「びんざさら^{まい}舞」

千束小学校の120周年をお祝いして

すてきな千束小学校が、ずっとずっと続くことを願って・・・